

# オリジナル洋菓子の自販機を導入

## 洋菓子製造販売のマジカル

洋菓子製造販売のマジカル(本社岡崎市山綱町天神16の5、尾崎裕介社長、電話0564・48・7788)は、手作りケーキなどを販売する冷凍自動販売機を店舗の前に設置した。名称は「岡崎スイーツ365」で、店舗の営業時間外や休日にも同店の人気商品を購入することができる。2023年の大河ドラマ「どうする家康」にちなんだオリジナル商品も投入し、土産用の需要拡大を狙う。

(三河・小山楓)

## 名称は「岡崎スイーツ365」

### 営業時間外も需要開拓



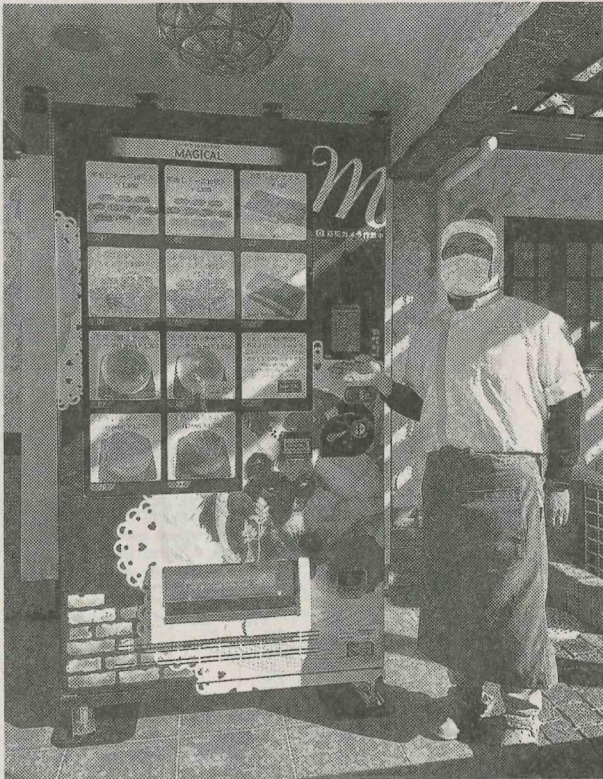
尾崎裕介社長

同社は1986年創業で、洋菓子店「マジカル」を運営する。地域住民から長年親しまれている洋菓子店で、ケーキや焼き菓子の販売のほか、併設するカフェ

エではケーキ以外にランチも楽しめる。コロナ禍における非対面・非接触のニーズの高まりから、冷凍自動販売機の導入を決めた。

店舗の営業日に関わらず、365日商品を購入することができることから、自販機の名称を「岡崎スイーツ365」とした。現在は、人気商品の「窯出しチーズ」(10個入り1800円)をはじめ、自販機限定で「お買い得モンブラン」、「お買い得チョコムース」(いずれも700円)など、6種類のスイーツを販売している。

また、自販機の導入にあたって、新商品「家康公濃厚チーズケーキ」(1700円)を開発。大河ドラマ



このほど導入した自販機